



今村宮本殿



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	いまむらぐうほんでん
所在地	岡山市北区今村
指定年月日	昭和30年3月18日
解説	今村宮は、宇喜多直家が岡山城拡張に際して、城内内山下の桜の馬場にあった三社明神を現位置に移転し、地元の鎮守八幡宮を合祀した神社。本殿は元和9年(1623)の再建で、桁行三間、梁間二間、檜皮葺。平面構成は、三間社流造、正面に唐破風造の向拝をつける。内部は、二本の中柱によって外・内陣に分かれ、奥に神座を設けている。神座の板戸や円柱の上部、虹梁・長押等には、極彩色の装飾が施され、桃山の荘重華麗な建築様式を示している。
アクセス方法	岡電バス「今村宮前」バス停から徒歩3分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ 
備考	